

2023年度 4月採用分 実務従事者募集要項

1.設置者の名称及び所在地	社会福祉法人 楡の会 北海道札幌市厚別区厚別町下野幌49番地 電話:011-898-3929 FAX:011-898-5109
2.業務を行う施設の名称及び所在地	社会福祉法人楡の会 法人内の障害福祉サービス事業、及び、法人内クリニック ①児童発達支援センター事業 きらめきの里 ②多機能型児童発達支援事業 ルビーノ・サフィラ ③楡の会 こどもクリニック ①・②・③ 北海道札幌市厚別区厚別町下野幌49番地 ④放課後等デイサービス くりーむど〜なっつ 北海道札幌市白石区川下1条8丁目3-1 ⑤放課後等デイサービス ど〜なっつ 北海道札幌市厚別区厚別中央3条6丁目3-8 6丁目堀川コーポ1F ⑥放課後等デイサービス ど〜なっつneo(ねお) ⑦生活介護事業 ひまわり ⑥・⑦北海道札幌市厚別区厚別東3条7丁目21-7
3.施設の長の氏名	理事長 三宅 誼
4.プログラムの運営・実施責任者	岡部善也 (公認心理師 臨床心理士 さっぽろ子どものこころコンシェルジュ事業担当)
5.プログラム開始日	2023年4月1日
6.プログラム指導者の氏名	指導責任者：岡部 善也 (臨床心理士・公認心理師) 藤崎知美 (臨床発達心理士・公認心理師) / 武田亜樹 (臨床心理士・公認心理師) / 伊藤由里香 (臨床心理士・公認心理師) / 田野準子 (臨床発達心理士・小学校教諭・養護学校教諭)
7.選考方法	募集定員： 2名 (8月末現在：職員数 計211名 女性170名 男性41名) 応募条件： 公認心理師試験受験資格に必要な科目を修め、または本年度中に修める予定で、かつ所定の期日に卒業することが見込める状態にある大学の学部生。 または公認心理師試験受験資格に必要な科目を修めすでに卒業している者。 ※取得(予定)単位などの観点で、自らが「実務従事者となる条件を持っているか(持つ予定か)」を指導教官等に必ず確認して下さい。 選考方法の流れ： (1) 書類選考(書類審査) (2) 二次選考(個人面接、小論文等の筆記試験)：該当者のみ (1) 書類審査(応募書類)： 提出期限 2022年10月28日(金) 必着 ① 履歴書 (注：対人支援の経験があれば職務、ボランティアに依らず記述して下さい。この部分のみ別紙にするのは可) ② 科目履修証明書 ③ 卒業見込証明書または在職証明書 ④ 科目読み替え表(※1) ⑤ 心理師としてのキャリアイメージ～支援の対象や方法など、どのような心理支援を行う心理師を目指しているか(行ってきたか)を800～1000文字程度で記載。 ※1 公認心理師科目の読み替えについて、出身大学に必ず確認し、受験資格を満たしているかどうか必ず確認して下さい。読み替え表が入手できる場合は提出して下さい。受験資格に満たない方は、プログラムに参加できません。 ・ 書類審査結果発表：2022年11月4日(金) 個別にメールでお知らせします。 (2) 二次選考(該当者のみ)： ▶札幌会場の場合 ・ 日時： <u>2022年11月26日(土) 10:00～</u> ・ 場所：札幌会場 (2の①の法人本部) ・ 内容：個人面接、小論文 ▶場合によってオンライン対応をします。 連絡方法： 主に、「12 問い合わせ先」にあるメールでのやりとりとします。

8.雇用条件等	<p>雇用形態：常勤採用(臨時職員)</p> <p>給与等：基本給156,000円/通勤手当を除く ※経験内容によっては経験加算がつきます</p> <p>就業時間：基本 8:45～17:15(実働7時間45分) ※シフトによる</p> <p>休日：週休2日制(2021年度 休日109日)、年末年始、他、有給休暇、育児休暇等あり。※基本 土日祝日休み、事業によりシフトが異なるため他の曜日が休みの場合あり。</p> <p>科目履修：法人本部近隣 (3kmほど) にある札幌学院大学との提携により、公認心理師育成の科目を履修する(週一回2コマ程度)。履修の時間は実務プログラム時間として見なす。なお科目履修に必要な費用は本人の負担とする。</p> <p>通勤手当：当法人規定による</p> <p>福利厚生：健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険</p> <p>健康診断：当法人のクリニックにおいて毎年健康診断を実施している。ストレスチェックを毎年実施している。</p> <p>研修等：学会、研究会等への参加が可能。費用は当法人旅費規程に基づいて支給する。</p>
9.プログラムの特色	<ul style="list-style-type: none"> ・当法人は社会福祉法人として障害福祉サービスを提供し、クリニックを併設しているため、実務経験分野として、医療と福祉の2分野を経験することが可能です。 ・発達障害、肢体不自由、重症心身、不登校、神経症圏などの症例に対して乳幼児期からの家族を含めた支援を経験する。医療と福祉の複合施設であるため、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、ヘルパー、心理士(臨床発達心理士、臨床心理士、公認心理師)と多職種による包括的な支援を実務レベルで学ぶことが可能です。 ・「障害種別年齢問わずに障がい児・者の地域生活を家族共々支援する」という設立理念に基づき、子どもの育ちと保護者に寄り添いながら支援を行っており、本人の困難だけでなく家族の状況を適切にアセスメントしてそれぞれの立場に必要な支援を組み立てていく視点を学んでいくことが出来ます。 ・乳幼児期(医療、児童発達支援事業等)から成人期(医療、生活介護等)までの症例が来ているため、それぞれのライフステージにおける支援を見渡すことができる。乳幼児期の愛着形成とその後の人格形成との関係を見据えつつ、生活視点、社会的視点、全人的視点での心理支援を学び、考えていくことが可能です。 ・札幌市の「障害児等療育支援事業」「さっぽろ子どものこころのコンシェルジュ事業」を受託しており、医療や福祉的支援に繋がる前のアウトリーチ的援助を体験できます。 ・各現場での実務と講義受講を行いながら、実習指導者とのフィードバックの時間でそれぞれの経験を全人的支援の視点で繋いでいきます。 ・札幌学院大学大学院 臨床心理学研究科と連携・共同し、心理学等に関する専門的な知識の修得を目的として、公認心理師法施行規則第2条に規定する大学院の科目に相当する講義を履修し単位を取得します。3年で10科目ほど履修します。この時間も実務経験プログラムの時間と見なします(履修に必要な費用は個人の負担となります)。 <p>注意事項：当プログラムは児童の療育、発達支援の現場に関わることの多い内容です。ご自身のキャリアイメージと合致しているか充分にご検討下さい。</p>
10. 問い合わせ先	<p>〒004-0007 札幌市厚別区厚別町下野幌49番地</p> <p>社会福祉法人 榆の会 公認心理師プログラム事務局 担当：岡部</p> <p>電話：011-898-3929 FAX：011-898-5109 Mail：koninshinrishi@nire.me</p> <p>プログラム詳細ホームページ：http://nire.or.jp/koninshinrishoprog/</p>